

2019 市長のお出かけトーク 意見交換報告

No	開催日	団体名	会場	件名	主な意見・質問・要望	市長回答	関係課
1	8/6	NPO萩こどもセンター	萩市立児童館	スタジオの18歳以上の利用について	子どもの頃、児童館を利用していた方が、社会人・大学生となり、帰省時にスタジオを利用したいという声を聞く。児童館の利用は18歳までという規定があり、お断りしているが、空いている時間に利用できる方法はないか。	子どもが使う日を優先して、空いている時間に大人が利用できる運用を行います。	子育て支援課
				PRについて	子どもセンター、児童館の活動をもっと市の方でも宣伝してほしい。	市でも情報があればPRしますが、現場から生の声をSNS等を活用し、発信したほうが訴求力があると考えます。	子育て支援課
				案内看板等について	観光客が明倫学舎の駐車場に車を止めても、バス停等が明倫学舎を遮り、気づかず、図書館・児童館の方を訪ねて来られる。案内看板、表示をもっと明確にしてほしい。	わかりやすい案内看板・表示の設置等について検討します。	観光課
2	9/19	福栄文化遺産活用保存会	萩市福栄農業担い手育成センター	世界遺産大板山 たら製鉄遺跡について	観光振興についての取組方針、市内関連遺跡との連携は。	この遺跡は、たたら製鉄に関連する一連の遺構が点在しており、各遺構の役割や相互の関連性についての理解増進を図ります。産業革命遺産の全体の価値、萩エリアの構成資産の位置付け、5つの構成資産の関連性について、市民、来訪者の理解を増進する説明(映像技術、模型などを併用)、情報発信に努めます。	文化財保護課
				遺跡へのアクセス道について	大型観光バスの乗り入れが可能になるように、道を改修してほしい。 管理棟へ行く道は雨が降ると崩れる恐れがあり心配。	大板山までの道を拡張するのは、難しい状況です。車を乗り換えるとか、電動アシスト自転車などを活用するなど、今からできることを考えましょう。 危険な箇所があれば通報してください。スマホで危険な箇所を通報できるアプリの導入も計画しています。	土木課 文化財保護課 土木課
3	9/26	生活と健康を守る会	市民活動センター結	制度の周知について	大腸がん手術により、排泄管理用具が日常的に必要な患者に、医療機関に術後すぐ障がい者申請の支援を行うよう周知を図るべき。	萩市内でストマ造設術を行う医療機関には、15条指定医師が在籍しておられ、適切に対応されているものと考えていますが、ご質問のように制度を知らず不利益となる事例があるのであれば、医師会を通じ、周知させていただきます。また、現状では、ストマの給付は傷害者手帳交付後ですが、遡及適用して給付することになります。	福祉支援課
				個人情報の保護について	生活困窮による公共料金滞納によりガス・電気などのライフラインが急に停止となることがないよう、事業者に要請を。	電気・水道・ガスの各事業者に対し、料金の滞納がある方へ自立相談窓口の周知を依頼し、生活に困窮された方が適切な支援を受けられるように対応します。いろいろな手段を使って制度を周知してまいります。	福祉支援課
				交通弱者への対策について	自衛隊への市民の個人情報、本人の同意なしに、今後も名簿を提供することがないようにお願いしたい。	住民基本台帳の閲覧のみで、今後も紙媒体での情報提供は行いません。	市民課 防災危機管理課
				観光地としての充実について	公共交通の空白地では、運転免許返納後に交通弱者となる高齢者等が深刻な問題となっている。生活者の目線に立ったきめ細やかな対策を講じてもらいたい。	現在の公共交通の見直しや住民主体の新たな公共交通の導入など、自宅から移動できる手段として、ぐるっとバスのデマンド化の推進や、市街地においては、まあーるバスの運行ルートの見直しなどのほか、高齢者等の移動ニーズに対応した、多様な公共交通を組み合わせながら、よりきめ細かな移動手段の確保を図ってまいります。	商工振興課
4	10/2	萩市の未来を考える会	総合福祉センター	エイジス・アショアの配備計画について	観光客向けの案内看板などの整備(堀内地区)、またレンタサイクルの質的充実を求めたい。	案内看板については、他の世界遺産の地区などの先進地の事例等を参考に、より良いものとなるよう研究します。レンタサイクルについては、今年度、観光協会で電動自転車8台、スポーツサイクル18台を導入し、レンタサイクル店に無償で貸し出し、旅行者に提供する自転車の充実を図っています。事業者においても、自転車を充実される等、観光客の満足度が向上するよう経営にご努力いただきながら、萩市も連携して自転車を活用した取組を推進してまいります。	観光課
				マイクプラスチックごみ対策について	・国益に適うのであれば認めるというお考えだが、国益とは。配備で「いきいきと暮らせるまち」になるか。 ・電磁波等による健康被害への不安など、「安心・安全」に逆行するのでは。 ・自衛隊員で人口が増えて活性化するという説があるようだが、そのようなまちづくりができた実例があるか。	・国益に叶うなら「認める」ということは申し上げていません。国益と安心安全、まちづくりをしっかりと考え、総合的に判断したいと考えます。 ・再調査の結果、専門家による検証をもとに、本当にどこまで安心安全が損なわれるのか、しっかりと把握していきたいと思えます。 ・自衛隊で人口が増えて活性化するというようなことを申し上げたことは一切ございません。誤解のないようお願いいたします。	総務課
				介護現場の問題と改善策について	亀のおなかの中にレジ袋が入って死んでいたとか、ずいぶん前から聞いていた。5ミリ以下のごみが海を漂っている。生き物にとって存続が危ぶまれている。魚網の管理、ごみ拾いなど出来ることもあるのではないかと。市の環境の方にご指導いただき、もっと勉強したい。我々にも出来ることをやっていきたい。	マイクロプラスチックのごみ対策、萩市の取組状況を説明。発生源を絶つ取組みとしてマイバック持参推進運動、漂着ごみ回収の取組みをとして、多くのボランティアの皆さんの協力により、年間100t以上のごみを処理しています。	環境衛生課
				ある市で職員の勤務表を高齢福祉課に出していた。その勤務表の中に介護職でない事務員の名前を書いて報告していた。簡単に3、4年に一度監査があるが形式的であり、内部告発するまで分からなかった。調べ方を変えてほしい。萩市の介護施設がやっているとは言いませんが、別に市内の介護用品を扱う職場におり、不正な納品の事実があった。抜き打ち検査を提案したい。	萩市ではこれまで、行政処分となった事例はありません。萩市内に介護事業者は267事業所(みなし指定含む)。実施指導と介護適正化事業を行っている状況で、通常は2～3年に実施指導を実施。指定権限がおりている事業所が40事業所、地域密着を含め、居宅もH30から指定が市となりました。監査と行政処分、実施指導がありますが、内部告発によって、訴えていただいたときに行うのが監査。監査から行政処分となります。現在萩市では、実施指導の形で行っています。 やり方については、県にも報告しながら研究していきたいと思えます。	福祉部	

2019 市長のお出かけトーク 意見交換報告

No	開催日	団体名	会場	件名	主な意見・質問・要望	市長回答	関係課
5	10/7	浜崎しっちゃん会	浜崎みんなの家	伝建地区の制限について	伝建地区はメリットもあるが、簡単には壊せない等の制限といったデメリットもある。柔軟な対応をしてほしい。	浜崎の伝建地区をより良いものとして、維持するために、全体の調和を図る上だけでなく、一つ一つの個別相談にしっかりと、先入観持たずに、真摯に受けて、寄り添う形で対応することに努めさせていただきます。	文化財保護課
				古民家空き家対策について	・伝建物等の空き家が、老朽化している。我々の力ではどうにもならないので、対策をお願いしたい。 ・旧郡部島嶼部などのUJIターン者向けの住宅のように、古民家を住めるようにしてもらいたい。	・すべての空き家を行政が買い上げて解決するということはできません。民間同士での円滑な取引を促すため、関係課と協力して、空き家情報バンクの情報提供や、定住支援、企業支援と、伝建地区の補助制度、税制上の優遇を組み合わせた支援を行ってまいります。 ・旧萩市のUJIターンの移住者住宅を整備については、市営住宅の課題も含めて考えてまいります。古民家の活用については、プロの民間的な発想で進めていただきたいと思います。	建築課
6	10/15	弥富地区社会福祉協議会・弥富でっぴん会	弥富老人憩いの家	高齢者を中心とする移動支援の充実について	でっぴん会で萩市から車輛の貸与を受け、通院・買物の支援をしているが、運転手の確保、今後の需要増加傾向から対応が難しい状況。女性、高齢者の運転が容易な小型車輛の貸与は出来ないか。 萩市公共交通の拡充と合わせ検討が必要では。	萩市公共交通網形成計画(案)では、よりきめ細かな移動手段の確保を図るため、住民主体の地域コミュニティ交通を推進することとしています。コミュニティ交通の導入については、今後地域とも調整を図りながら、推進していくこととしており、その中で車両についても検討します。 また、運転手の確保を含め、将来にわたり持続可能な移動手段の確保の観点から、自家用有償運送について、検討してまいります。	商工振興課
				ゴミ収集について	市指定のゴミ集積場への運搬が困難な状況であり、回収ルート、箇所数の検討が必要。	でっぴん会の皆様には、日頃からゴミ出しが困難な世帯への援助に感謝いたします。清掃車輛(パッカー車)が通行可能な公道上で、車輛の回転できる場所等が確認できれば、回収ルートや集積所数の見直しを検討いたします。	環境衛生課
				市道の管理充実について	電動車移動、歩行に際し路線によっては劣悪なところも見受けられる。除草、路面管理等を含め、管理作業の頻度・充実が必要。	草刈り・路面清掃は、幅員が狭いところカーブが連続し見通しが悪い所などを優先的に実施しております。随時、道路パトロールを実施していますが、特に通行に支障が出ている場合は、弥富支所又は須佐総合事務所までご連絡ください。	土木課
				サロン開設について	市の支援で集合型サロン開設で、施設備品も揃えてもらった。引き続きの支援を切望する。	「地域ささえあい協議体」には、市の職員も引き続き参加し、協議体の要望等を聞きながら出来る範囲で支援に努めます。	高齢者支援課
				農地について	農地の荒廃が進んでいる。これについて、市として農業公社などをつくって、どうにか出来ないだろうか、検討していただけないか。	各地域に農事組合法人を作ってきました。しかし、全体の水田面積で萩市の3割に届きません。今後は、全ての農地を守るのではなく、今、現実的に守らなくては行けない農地、それに対して何かできるか、農政課の職員も現場に入ってしっかり考えてまいります。	農政課
7	10/28	明木地区社会福祉協議会	旭マルチメディアセンター	自動車運転免許証を返納した後の「あし」の確保について	運転免許証を返納後した高齢者の移動手段は限られ、買い物や通院などの日常生活に支障をきたす実状を踏まえ、どのような支援がなされるか。	今、策定中の「公共交通網形成計画」においても、高齢者等が自宅から目的地まで移動できる交通体系の構築を大きな柱としています。 各総合事務所管内では、「ぐるっとバス」のデマンド化の検討も行っています(明木地区は定時定路線で運行)。 地域コミュニティ交通の推進にあたっては、地域とも調整を図りながら進めていくこととしており、運転手の確保を含めて、将来にわたり持続可能な移動手段の確保を図るため、地域団体等による自家用有償運送について、進めたいと考えています。	商工振興課
				明木地区社協事務所の移転について	現在の事務所(旭総合事務所内)を旭マルチメディアセンターへ移転することは出来ないか(来場者が来やすい、相談室の問題等)	事務所の適切な場所を、明木地区のみなさんと、移転のプラス面、マイナス面を協議していきたいと思えます。	福祉政策課
8	11/6	千石台出荷組合	むつみ総合事務所	飲料水について	・大根選果場に上水道を利用している影響で、一般家庭の飲料水に濁りが発生しているため、新たな水源確保をしてほしい。 ・選果場の年間水道料金が約120万円かかる。山陽側の工業用水並みの料金制度を作ってもらえないか。	・新たな水源確保は、今年度、上下水道局で調査業務を行う(現在入札段階)。順調にいけば、令和2年度末には新たな水源による水量確保ができる見通しです。 ・料金は、工場用の料金を適用し、通常より安価になるよう対応しているところです。他にも簡易水道を営農用に使用している事例があり、千石台簡易水道のみ別料金にすることは困難であることをご理解いただきたいと思います。	水道工務課
				案内看板の設置について	千石台の場所が分かりにくいので、消費者、見学・収穫体験者が道に迷う。案内看板の設置は出来ないか。	見学の方だけではなく、観光客の方も来られる可能性もあり、皆さんに分かりやすい道案内をしっかりと対応したいと考えています。また、案内看板の件等を含めて、千石台に関する夢プランに繋げていただきたいと思います。	地域づくり推進課
				6次産業化について	市内のあらゆる企業や生産者などの幅広い連携により、新たな商品開発を展開し、活気あるまちづくりに取り組む必要がある。 萩の特産品を紹介する総合的なパンフレットを作成してPRしてはどうか。	「萩と言えば〇〇」といった消費者の意識に刷り込むようなブランド戦略により、地域全体で「萩ブランド」を構築してまいります。効果的な萩ブランドのPRを行うため、肉や酒、野菜など分野ごとにパンフレットを作成し、認知度向上に取り組んでまいります。	産業戦略室
9	11/18	儲ける農業者交流会	福栄農業担い手センター	後継者問題、新規就農者の支援について	・指導農業士を利用してもらい、後継者対策を地域で取り組んでいくことが出来ないか。 ・経営が安定する(軌道に乗るまで)まで、技術指導などの支援等してもらえないか。	・国、県の制度や市の独自の施策により、担い手の根幹である集落営農組織、認定農業者、意欲ある個別経営体を支援するなど、新規就農者の育成、確保に努めます。また、萩市独自の支援として、今年度から「農林漁業スタートアップ応援事業」を開始しました。 ・ご提案いただいた指導農業士の方も「新規就農サポートチーム」に入ってください、経営が安定していくように、持ち帰って検討いたします。	農政課
				認定農業者の機械購入費等の補助について	フォークリフトとか、バックホーは農業機械の補助対象に入っていない。対象になるように、市からも要望してほしい。市の単独補助も検討してほしい。	汎用性の高いものは補助対象になっていません。ご要望のあった市の独自の補助として、どのような制度が考えられるか検討してまいります。	農政課

2019 市長のお出かけトーク 意見交換報告

No	開催日	団体名	会場	件名	主な意見・質問・要望	市長回答	関係課
10	12/16	川上小中学校 運営協議会	川上小学校	農業について	農業に力を入れていると言われるが、奈古分校が農業を切り離すなど、学びの場がない。個別の農家を育てないと農業を守れないと感じている。	農業をやりたいと思ったときに、40代でも50代でも、そのひとのタイミングに合わせて、萩市で受け入れられる仕組み、窓口があることが理想です。また、いかにして、儲かる農業をつくるかがテーマと考えています。	農政課
				子どもの交流について	川上小学校は年に1日、明倫小学校と交流があるが、もっと他校の子どもと触れ合う場をお願いしたい。	それは可能です。学校同士で連携をとって実施してください。	学校教育課
11	2/13	NPOみんなの 図書館	萩図書館	図書館政策について	現在、年中無休、朝9時開館、夜9時までの閉館で運営しているが、将来的にもこの運営を継続していくのか。	平成22年に「NPO萩みんなの図書館」を組織していただき、現在は100名を越える市民の皆さんが運営に参画されていると聞いております。会員1人1人の皆様の高い見識や叡智を、会員活動の中で提供していただいております。おかげさまで年間約30万人の方が利用される施設となっております。現段階では早急に運営方法の見直しは考えておらず、継続していきたいと考えておりますので、引き続き宜しくお願い致します。	萩図書館